

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第54回 ビジネス文書実務検定試験 (27.7.5)

第3級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第54回 ビジネス文書実務検定試験 (27.7.5)

第3級 速度部門問題 (制限時間10分)

ある研究グループが、開発中の機器をマスコミに公開した。これ	30
は、頭の中でイメージすることにより、家電製品を操作することが	60
可能である。手で操作しなくても、テレビのチャンネルを切り替え	90
たり、車いすを動かしたりすることができる。	112
このシステムは、頭に取り付けた機器で脳波や血流の動きを読み	142
取り、電気信号に変換して指示をする。現段階での成功率は、7割	172
から8割となっている。だが、日常の生活に求められる複雑な操作	202
は難しいレベルだ。	212
わが国は高齢化が進み、この研究の早期の実現が待たれている。	242
そのため、多くの企業や大学が共同で開発に取り組んでいる。近い	272
将来、介護や補助を必要とする人の生活が、今よりも便利になるこ	302
とを期待したい。	310